

第四問

つぎのわく内の文を、横書きで下に書きなさい。
 (漢字は楷書で書くこと。数字やローマ字は、
 仮名や漢字に似合うものであればよい。速書き
 をねらうものではありません。) <つけペン・万年
 筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用
 すること。> 鉛筆で下書きをしてはいけない。

大西洋と北極海の間にあるデンマーク自治領のグリー
 ンランド (Greenland) は世界最大の島で、気
 候は寒冷、全土の80%以上が氷床や氷河に覆われてい
 る。

★
 素朴な風姿、力強さ、自在な筆致と、
 それぞれに個性がにじんだ高僧の書は、
 墨蹟と呼ばれ、禅精神の象徴として古来
 尊重されてきた。

第四問
 点

第三問

つぎの★印のあるわく内の文を、左に書きなさい。(漢字は行書で書くこと。平仮名は連綿で書いてもよい。)
 <つけペン・万年筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用すること。> 鉛筆で下書きをしてはいけない。

第三問
 点

★
 進歩 希望 詩歌 信念 感情

楷書	行書	草書

第二問
 点

第二問

つぎの★印のあるわく内の五つの語句(二〇字)を、楷書・行書・草書の三体で書きなさい。
 <つけペン・万年筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用すること。> 鉛筆で下書きをしてはいけない。

一級

二枚め
 文部科学省後援 書写技能審査
 平成二十九年 度第三回硬筆書写技能検定 試験問題
 <実技問題>

試験会場名
団体名
受験番号

第二問から
 第五問まで
 の合計点
 点
 受験者名簿に転記

第五問

つぎの★印の……で囲んだわく内のa・b・cのうち、いずれか一つを選んで、左の余白に縦書きで、自分の得意とする形(書体・書きぶり・布置など)で書きなさい。鉛筆で下書きをしてはいけない。
 なお、その場合、自由にわくの大きさや縦横の割合などを考え、鉛筆で外わくを囲った体裁のよい形に仕上げなさい。
 (つけペン・万年筆またはボールペン・サインペン・油性または耐水性顔料のマーカーのいずれかを使用すること。)

★

a

風まぜに雪は降りつつしかすがに
霞たなびき春は来にけり

(新古今和歌集)

b

ちまたを越えて木の葉は飛び
木立の上に鳥は鳴く
山のあなたのだどこかに
私の遠いふるさとはあるに違いない

(ヘッセ)

c

雪散因和氣
氷開得暖光
春銷不得處
唯有鬢邊霜

(白居易)

cの読み
雪散じて和氣に因り
氷開けて暖光を得
春の銷さんとして得ざる處は
唯だ鬢邊の霜有るのみ

aは、漢字を仮名に、仮名を漢字にして書いてもよく、
また、適当に変体仮名をまぜて書いてもよい。
bの漢字・仮名は、課題のとおりを書くこと。
cの漢字は、書写体にかえてもよい。
なお、作品に雅印を押ししたり、自分の名まえを書いたり
してはいけない。

第五問
点

第六問

つぎのわく内の掲示文を、別紙(第六問用紙)を縦長にして、縦書きで体裁よく書きなさい。
 (必ず油性または耐水性顔料のマーカーを使用すること。)
 鉛筆で下書きをしてはいけない。定規やものさしで書いた線は消して出すこと。

古典の朗読教室

日時 一月二十八日(日)

午後二時から四時まで

場所 南町教育文化会館

講師 高山翔一先生

参加費 五〇〇円

主催 国文学研究同好会

一級

三枚め

文部科学省後援 書写技能審査

平成二十九年第三回硬筆書写技能検定

試験問題

〈理論問題〉

理論問題の答えは、ボールペン・サインペンまたは万年筆で書くこと。

試験会場名

団体名

受験番号

第七問から第十問までの合計点

点

受験者名簿に転記

第七問

A 当用漢字で新しい字体が採用されたため、もとの字体は旧字体といわれるようになりました。つぎの漢字を旧字体で、下の□の中に書き入れなさい。

繩

尽

読

属

虫

B 書の上では辞書にない形の漢字をよく書きますが、これを書写体といっています。つぎの漢字を書写体で、下の□の中に書き入れなさい。(下の例を参照。)

慮

数

顧

光

縁

例所

第七問

点

第八問

A つぎの草書で書かれた漢字を、楷書で下の□の中に書き入れなさい。

教

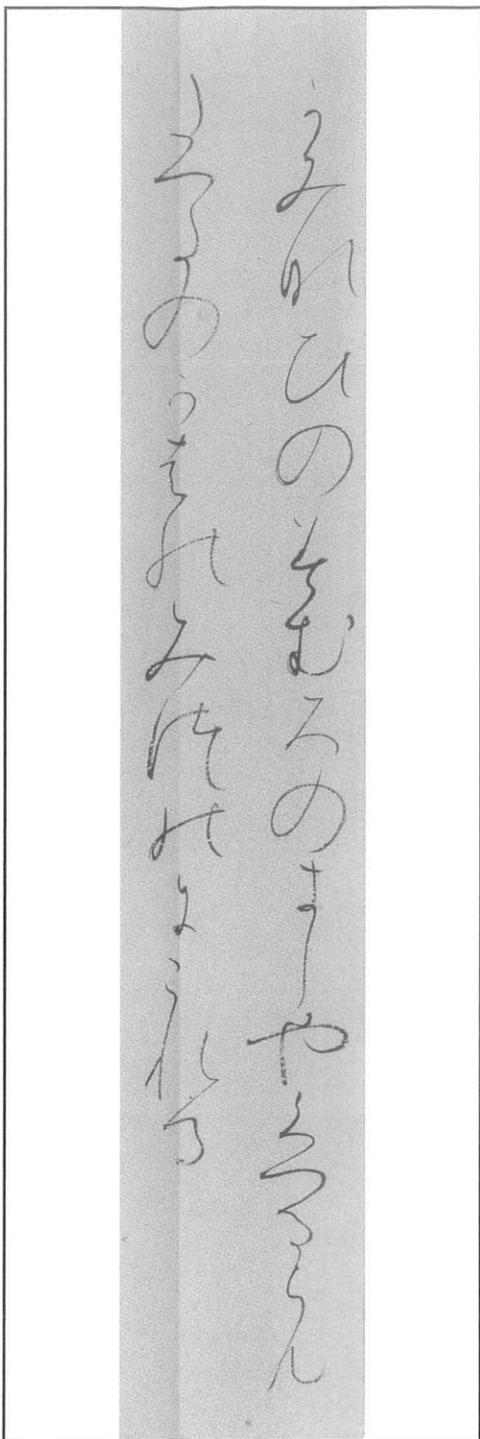
取

然

空

控

B つぎの粘葉本和漢朗詠集について、全部の字を平仮名で、外側に書き改めなさい。



第八問

点

第九問

A つぎに書かれている漢字の字形について、初歩的段階の人を指導するつもりで添削しなさい。
(添削の方法は、上の字のまじり箇所を矢印をつけ、修正した形の字を下の□の中に書き入れること。例を参照。)

白

□

□

長

□

志

□

全

□

例
田
田

B つぎの1から8は作品名で、下段は筆者名です。筆者に関係のある作品名(伝承も含む)の番号を下の□の中に書き入れなさい。

- | | | | |
|---------|---------|------|---|
| 1 真草千字文 | 5 風信帖 | 欧陽詢 | □ |
| 2 化度寺碑 | 6 書譜 | 嵯峨天皇 | □ |
| 3 鄭文公下碑 | 7 枯樹賦 | 虞世南 | □ |
| 4 光定戒牒 | 8 孔子廟堂碑 | 智永 | □ |
| | | 空海 | □ |

第十問

A つぎに書かれた文の漢字について、常用漢字の字体から見誤りまたは不適当な字があったら、その右に正しく書き改めなさい。全文を書き改めてはいけません。

天智天皇は、百人一首の巻頭にある歌で知られ、近江
 神宮「競技かるたの聖地」としても名高い。近江勸学館
 では、競技かるたの全国大会が開かれ、愛好家が集う。

B つぎの和歌を歴史的仮名遣いの上から見て、正しくない箇所だけを、その横に正しく書き改めなさい。全文を書き改めてはいけません。

ゆうづくよしお満ちくらし難波江のあしの若葉を越ゆるしらなみ
 こえはして雲じにむせぶほととぎす涙やそそぐ宵のむらさめ